

春爛漫の今日よき日に、ご来賓のご臨席をえて、ここに大阪府立豊中高等学校第七十二回入学式を挙行できますことは、私ども教職員にとりまして、この上ない喜びでございます。壇上からではございますが、心より厚く御礼申しあげます。

先ほど、豊中高校七十二期生の入学を許可いたしました。

厳しい入試を突破され晴れて、豊高生となられた新入生の皆さん、おめでとうございます。教職員一同、心よりお祝いし、歓迎いたします。保護者の皆様方にも心よりお祝い申しあげます。

本校は大正十年に大阪府立第十三中学校として設立し、大正・昭和から平成へと時代が移る中で、「質実剛健」、「協同進取」という建学の精神を受け継いでまいりました。

入学生の皆さん、ここでこの「質実剛健」と「協同進取」という言葉について、解説をします。

「質実剛健」（物質の質と実力の実、剛力彩芽さんの剛と健康の健と書きます）の「質実」とは、飾り気がなく真面目であること。「剛健」とは、心が強く身体が健康であることを表しています。「協同進取」（協力の協と同じという字、そして進んで取ると書きます。）の「協同」とは、みんなが心と力を合わせることを意味し、「進取」とは、自分から進んでやり通すことを表します。

要約すれば、「健康で、真面目に、そして強い意志を持ってみんなと協力しながら、何事に対しても進んでやろう」ということになります。

この「質実剛健」「協同進取」という豊中高校のモットーを高校生活の中で実践するために、3点留意してほしいことを述べます。

1点目は、「高い志」を持ってほしいということです。

これまでは豊高に入ることが目標だった人も多いと思いますが、そのことは既に達成されたのです。現状に甘んじるのではなく、高い志をもって、次の目標を見つけ出してください。本校のアドミッションポリシーにある、「スーパーグローバル大学への進学をめざす」「英語でプレゼンテーションができるようになり、将来は海外で活躍したい」「探究活動を頑張る将来研究者や技術者になりたい」など、大きな夢と高い目標を持って高校生活を送ってほしいのです。iPS細胞の研究で有名なノーベル賞受賞者でもある京都大学の山中伸弥教授は、「物事を達成するには Vision と Hard Work が必要である。」と言っておられます。しっかりとした Vision を持ってください。

2点目は、「時間を大切にしてほしいということ」です。三年間の高校生活は長いようであつという間に過ぎてしまいます。時間を大切にするには、まずは時間を守ることです。大人の社会では、時間を守れない人は信頼されません。遅刻をしないということは言うまでもないことですが、学習を効果的に行うことや、学習と部活動との両立をするためには、自分で時間をコントロールすることが不可欠です。

3点目は、「尊敬できる一生の友人・先輩・後輩や恩師と呼べるような先生を見つけ出すこと」です。

実は、校長の私は、豊高出身で皆さんのちょうど四十年先輩です。今でも豊高で出会った友人や先輩と会う機会があり、本当に長い付き合いをしています。高校での出会いは一生続くものです。

また、高校時代に出会う先生方が、みなさんの生き方に影響を与えることもあります。豊高の先生方は、豊高生のために熱意をもって指導する努力を惜しみません。どうか一生の恩師となる先生とも出会ってください。

以上3点、「高い志・Vision をもってチャレンジすること」「時間をコントロールして有効に使うこと」「一生の友人先輩・後輩や恩師を見つけ出すこと」をお願いします。

結びに、保護者の皆様にも願いを申し上げます。大切なお子様を3年間お預かりすることになりました。お子さまの成長を、皆様と私ども学校とが、協力しながら進めていきたいと思っております。学校へのご質問や、あるいはお悩みがあれば、どうかご遠慮なく、担任にご相談ください。本校へのご理解とご支援・ご協力をお願い申しあげ、式辞とします。

平成29年4月5日
大阪府立豊中高等学校
校長 平野 裕一